

(新) 先導的低炭素技術 (L²-Tech) 推進基盤整備事業

650百万円 (0百万円)

地球環境局総務課低炭素社会推進室・地球温暖化対策課
市場メカニズム室・国際連携課国際地球温暖化対策室

1. 事業の必要性・概要

「地球一個分」という環境制約の下、大量生産・大量消費型の社会から脱却し、国民一人ひとりが真に豊かな低炭素社会を実現するためには、エネルギー消費量を抜本的に削減する大胆な省エネを進める必要がある。

2014(平成 26)年3月、環境大臣は「L²-Tech JAPAN イニシアティブ」を発表した。これにより、先導的(Leading)な低炭素技術(Low-carbon Technology) = L²-Tech(エルテック)を、あらゆる部門において分野別にリスト化し、開発・導入・普及を強かに推進することとしている。

このため、「L²-Tech JAPAN イニシアティブ」推進の基盤となる基礎情報として策定する「L²-Tech リスト」を効率的に更新・拡充し、国内外へ効果的に情報発信するとともに、削減ポテンシャルの分析に基づき、対策導入に必要な技術開発及び実証を特定することや、次世代素材活用の実現可能性調査を進めることが必要である。

2. 事業計画(業務内容)

(1) L²-Techリストの更新・拡充・情報発信(150百万円)

「L²-Tech リスト」の更新及び拡充を行うとともに、メーカーから最新の技術情報が自動的に集まる仕組みを創設するなどの、効率的な更新手法を検討し、実践する。

また、国内及び海外への効果的な情報発信手法を検討し、実践する。特に海外については、対象国における政策実施状況やニーズを把握し、我が国の低炭素社会構築の経験とともに発信する。

(2) 技術開発・実証が特に必要なL²-Techの特定(200百万円)

工場・事業場等における、エネルギー消費設備・機器の利用の実状から、L²-Tech への更新により省CO₂ やコスト削減につなげるニーズがどの程度あるのか技術分野ごとに動向分析を行い、開発・普及が急がれる有望な技術を特定する。

(3) セルロースナノファイバー等の次世代素材活用の調査(300百万円)

様々な製品等の基盤となる素材にまで立ち返り、自動車部材の軽量化・燃費改善による地球温暖化対策への多大なる貢献が期待できるセルロースナノファイバー等の次世代素材について、メーカー等と連携し、製品等活用時の二酸化炭素排出削減効果検証、製造プロセスの高効率化検証、リサイクル時の課題・解決策検討、早期社会実装に向けた開発計画の検討・策定等を実施する。

3. 施策の効果

「L²-Tech JAPANイニシアティブ」による大胆な省エネの推進



先導的低炭素技術 (L²-Tech) 推進基盤整備事業

平成27年度要求額
650百万円 (0百万円)

背景・目的

- エネルギー消費量を抜本的に削減する大胆な省エネを進めるため、平成26年3月「L²-Tech JAPANイニシアティブ」を発表。先導的 (Leading) な低炭素技術 (Low-carbon Technology) = L²-Techをリスト化し、開発・普及を強力に推進。
- イニシアティブ推進の基盤整備のため、「L²-Techリスト」の更新・拡充・情報発信、対策導入に必要な技術開発・実証の特定、次世代素材活用の実現可能性調査を実施。

事業目的・概要等

事業概要

(1) L²-Techリストの更新・拡充・情報発信

メーカから最新の技術情報が自動的に集まる仕組みなど、「L²-Techリスト」の効率的な更新・拡充手法の検討・実践。
国内・海外への効果的な情報発信手法を検討・実践。特に海外は、対象国の政策実施状況やニーズを把握し、我が国の経験とともに発信。

(2) 技術開発・実証が特に必要なL²-Techの特定

工場・事業場等における、エネルギー消費設備・機器の利用の実状から、L²-Techへの更新により二酸化炭素やコストの削減につなげるニーズがどの程度あるのか、技術分野ごとに動向分析を行い、開発・普及が急がれる有望な技術を特定。

(3) セルロースナノファイバー等の次世代素材活用のFS

様々な製品等の基盤となる素材にまで立ち返り、自動車部材の軽量化・燃費改善による地球温暖化対策への多大なる貢献が期待できるセルロースナノファイバー等の次世代素材について、メーカ等と連携し、製品等活用時の削減効果検証、製造プロセスの高効率化検証、リサイクル時の課題・解決策検討、早期社会実装のための戦略の策定等を実施。

事業スキーム 委託対象：民間団体等 実施期間：平成27～31年度

期待される効果

「L²-Tech JAPANイニシアティブ」による大胆な省エネの推進

イメージ

